

県立日立工業高等学校【総合的な探究の時間計画】（令和 8 年度）

学校の教育目標

- 1 生徒の個別最適な学びと協働的な学びの効果的な実現を図るとともに主体的な学びを推進し、学力の向上を図る。
- 2 生活指導や特別活動を充実し、社会人として必要なマナーや態度を身につけさせるとともに、自立した責任ある社会の一員として自覚を促す指導に努める。
- 3 生徒に将来の夢や希望を抱かせるとともに、生徒の多様なニーズに対応したキャリア教育の充実を図る。
- 4 学校の活性化を図り、本校の特色ある教育活動を一層推進し、地域からの信頼と期待に応えるよう学校の活性化を図る。
- 5 本校の特色や魅力を、中学生やその保護者、地域の人たちに理解されるよう積極的な情報発信に取り組む。
- 6 業務の効率化、教科内の教材共有、各会議等の効率化等を進め時間外在校等時間の削減に努める。

総合的な探究の時間の評価

目標と育成する資質・能力	学習評価	配慮を必要とする生徒への支援方法
<p>地域や社会との関わりを重視した探究活動を通して、技術者としての感性と確かな力を育み、知・徳・体のバランスが取れた地域の産業に貢献できる人財を育成する。</p> <p>(1) 地域社会に関わる探究活動を主体的に行うことにより、課題の発見と解決に必要な技術や技能の基礎となる知識を身につけようとする態度を養う。(知識・技能)</p> <p>(2) 地域社会と自己との関りから課題を発見し、情報収集・整理・分析し表現するなど技術者としての創造性豊かな感性を育む。(思考力・判断力・表現力)</p> <p>(3) 地域社会に関わる探究課題について主体的・協働的に活動し、目的達成のために他者を尊重しつつ対話による深い学びと協働する姿勢を身に付ける。(学びに向かう力・人間性等)</p>	<p>・ 授業担当者会議で学習活動の観点別評価基準を共有する。主に以下の内容を評価対象とする。</p> <p>①計画書、報告書、報告会や発表会でのプレゼンテーションにおける表現。</p> <p>②活動目標、活動時間の振り返り、作業予定等を記入した日誌やポートフォリオ。作成した作品や資料。</p> <p>③活動状況や言語活動の記録。連携協力した外部関係者からの評価。</p>	<p>・ 学校が組織として生徒の情報を共有し、個別の支援計画の作成等による個別最適化された支援が行えるようにする。</p> <p>例) 文字の読みに難しさを感じている生徒について授業担当者を中心に情報を共有し、文章にルビをふることや口頭で説明を加えることなどの配慮を行うこととした。</p> <p>・ 生徒の実態や校内のリソースにあわせた学習支援や、生徒のニーズにあったカリキュラムを検討する。</p>

各学年における主な取組内容

「総合的な探究の時間」を課題研究等で代替している場合の科目名（ 課題研究 ）

学年	主たる探究課題及び学習活動	外部との連携	育成を目指す生徒像
1 年	多様な人や社会との関わりを想定したグループワーク等を行う。地域との連携から幅広い情報収集や課題発見を行い、学科の特性を生かした活動を行う。	インターンシップ担当者会（受入企業約 80 社）や、日立市商工会議所と連携する。	技術者としての感性と確かな力を育み、知・徳・体のバランスが取れた地域の産業に貢献できる人財。

様式 1

2年	第3学年の「課題研究」で1単位代替		
3年 (課題研究)	<p>【機械・工業化学科】</p> <p>工業高校の設備を利用したものづくりを研究課題とする。主に日々の学校生活をより良く快適にするための発明工夫を探求課題として設定し、製作時に問題を解決するアイデアや加工方法を身につける。取り組んだ課題について報告書やプレゼンテーションにまとめて発表する能力を学ぶ。</p>	<p>近隣の小学校や特別支援学校から依頼をうけ、教材等の製作をおこなうなど、地域との連携を行う。</p>	<p>地域や社会との関わりを重視した探究活動を通して、技術者として感性と確かな力を育み、知・徳・体のバランスがとれた地域産業に貢献できる姿を目指す。</p>
	<p>【電気科】</p> <p>科学技術に関する広範なテーマから、実社会や産業界との結び付きを考慮して探求課題を設定する。大学や企業等の資料を活用して調査を行い、研究予定表を作成し、実験・製作を主体とした創意工夫を凝らして課題解決に取り組む。研究の成果は要旨を報告書にまとめ、プレゼンテーション資料を用いて研究発表会で分かりやすく表現する。</p>	<p>研究テーマの調査段階において、インターネットや書籍を通じて大学、企業、研究機関等が発信する最新の資料や知見を収集して活用する。また将来的にどのような活用の可能性があるかを多角的に探究し、地域の産業に貢献できる実践的な学びを行う。</p>	<p>地域社会と自己の関わりから課題を発見し、技術者としての創造性豊かな感性と確かな力を備えた人財を育成する。知・徳・体のバランスを保ち、工業社会において適正かつ主体的に行動できる態度を身に付けた姿を目指す。</p>
	<p>【情報電子科】</p> <p>地域社会や日常生活に見られる課題をテーマとし、主体的に問いを立て、調査・分析を行い、その成果をまとめて発信することを探究課題とする。身近な社会問題や地域課題について考え、インターネットや書籍による文献調査で得た情報を収集して整理する。整理した情報を分析し、課題の原因や背景を考察したうえで解決策を提案し、報告書やプレゼンテーションにまとめて発表する。</p>	<p>地域社会の関係機関と積極的に連携し、実践的・体験的な学習活動を行う。継続的な連携体制を構築し、年間を通して協働的な活動と取り入れる事で、実社会と結びついた学習活動を行う。</p>	<p>自ら課題を設定し、計画的に調査・研究を進め、情報やデータを根拠に分析・考察を行い、他者と協働しながら課題解決に取り組み、その成果を分かりやすくまとめて発信できる生徒の姿を目指す。</p>